



コ・クリエーションスクール通信

共に創る わたしたちの学校

2026.05.20
No.2
文責：校長

ウェルビーイング実践校 TOCO-TON に

松島中が指定されました！

県で5か年計画で新時代創造プロジェクト「個別最適な学びへの転換プロジェクト」の一環として行っている取組で、本年度で2期目。そこに応募し、多くの学校の中から松島中が指定を受けることになりました。

学校を生徒たちのためにより良くしていきたいという本校の「やりたい！」を様々な面から支援をいただけることになり、その応援を力に変えて、令和8年度新しくなった学校教育目標

「自分らしく あなたらしく 共に未来へ」

の実現に向けて地域・保護者の皆様と共に学びの場（コ・クリエーションスクール）をつくっていききたいと思います。

【中信】松本市教育委員会

松島中

生徒が主役の学校文化変革プロジェクト

コ・クリエーションスクール 生徒・教職員・地域が共に作る学びの場



【取り組む「学校の仕組み改革」】

- ・CS運営委員会に生徒代表が参加
- ・生徒が企画運営する行事
- ・学校の余白の時間を生み出す工夫

中学校：461名

全公立の学校 西一甲学区 幼保と連携

長野県(教育委員会) プレスリリース 令和7年(2025年)11月20日

「ウェルビーイング実践校 TOCO-TON (トコトン)」 第2期の指定先を決定しました

すべての子どもが「好き」や「楽しい」、「なぜ」をことごとく追求するために、自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校「ウェルビーイング実践校 TOCO-TON (トコトン)」第2期の指定先を決定しました。

● 指定数

応募があった14校のうち

10件(12市町村教育委員会(6市2町4村))の
小学校49校、中学校24校、義務教育学校1校

を、ウェルビーイング実践校 TOCO-TON (トコトン) 第2期に指定しました。

● 指定した学校の内訳及び取組(予定)

見込みの学校

● ウェルビーイング実践校 TOCO-TON (トコトン) について

長野県総合5か年計画(しずかわ県が推進)プラン3.0の「新時代創造プロジェクト「個別最適な学びへの転換プロジェクト」の一環として

令和7年度は、第1期として指定した10件(12市町村教育委員会(6市3町4村))の小学校49校、中学校24校、義務教育学校1校が、令和8年度からの本県実施に向けて取組を進めてきました。

第2期の指定により、令和8年度は、10市町村(10市5町8村)の小学校95校、中学校24校、義務教育学校2校で取組を進めます。

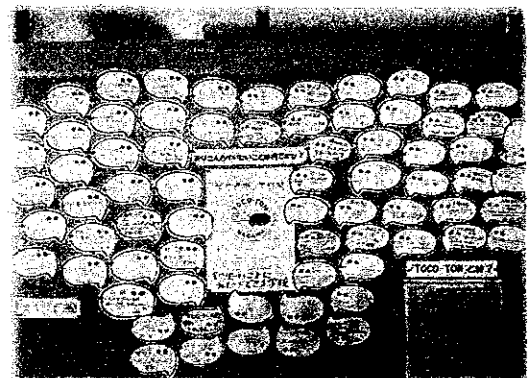
← 長野県公式ホームページより

生徒が主役の学校にということで「生徒の“やりたい”を応援できる学校づくり」を合言葉にスタートを切りました。

そのためには、まず教職員自身が「やってみたい」「挑戦してみたい」という思いを持つことが大切だと考え、年度当初に職員一人一人が、自分の得意なことや挑戦したいこと、子どもたちと共に実現してみたいことを書き出しました。

校長室前の廊下に掲示したところ、生徒たちからも「自分も書きたい」という希望があり、みんなの“やりたい”がたくさん掲示されています。

子どもたちの“やってみたい”は、周囲の大人の挑戦する姿や前向きな空気の中で育っていくものだと思います。教職員自身も学び、挑戦しながら、生徒一人一人の思いや可能性を大切にできる学校を、保護者・地域の皆様と共に創ってまいります。



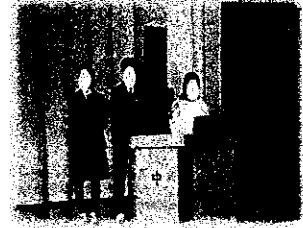
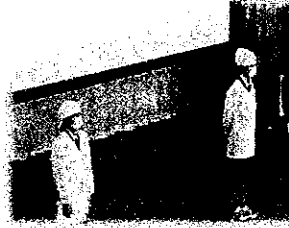
共創の足あと 4月

■4月8日(水) 生徒会オリエンテーション

年度当初の生徒会オリエンテーションでは、生徒会役員や委員会から学校生活や活動について説明が行われました。

「自分たちの学校は、自分たちで創る」という思いのもと、生徒一人ひとりが学校生活の主役であることを改めて確認する機会となりました。本校が大切にしている「共創」の姿は、誰かに任せるのではなく、自分も仲間と共に考え、関わり、行動していくことにあります。

今回のオリエンテーションを通して、生徒たちが主体的に学校づくりに参画し、新しい松島中をみんなで創っていこうとする意識がさらに高まる時間となりました。



■4月8日(水) 生徒会入会式

生徒会入会式では、生徒会役員を中心に、新生入生を温かく迎える会が行われました。

今年度の生徒会スローガンは、「全員主役 ～一人ひとりの想いを形に～」。このスローガンには、一人ひとりの声や挑戦を大切にしながら、みんなで学校を創っていきたいという願いが込められています。

当日は、在校生がつくるアーチの中を新一年生が入場し、会場は温かな拍手に包まれました。さらに、応援団を先頭に力強いエールが送られ、新入生へ「これから一緒に松島中を創っていこう」という歓迎の気持ちが届けられました。

生徒たち自身の手でつくり上げる入会式の姿からは、本校が大切にしている「主体性」や「共創」の息吹が感じられる時間となりました。



■4月15日(水) 曾根原教育長による講演『探究する松島中生徒に』

教育長講話では、「探究する松島中生徒に」をテーマにお話をいただきました。

これからの社会は、変化が激しく、正解が一つではない時代であること、AIや情報技術の進展、少子高齢化、地球環境問題など、社会が大きく変化している中で、自分で考え、他者と協働しながら新しい価値を生み出していく力が求められていることを、具体的な例を交えながら分かりやすくお話しいただきました。

また、これからの時代を生きる子どもたちには、「言われたことをこなす力」だけでなく、自ら問いをもち、挑戦し、対話しながら学び続ける姿勢が大切であることについても触れられました。

講話を通して、生徒たちは「なぜ今、探究が大切なのか」を改めて考える機会となり、本年度、松島中学校が大切にしていくな「探究する学び」について、全校で思いを共有する時間となりました。



■4月17日(金) 全校道徳

全校道徳では、道徳係の先生から「道徳の時間で大切にしてほしいこと」について話がありました。

道徳は、ただ正しい答えを覚える学習ではなく、一人ひとりが自分の考えをもち、仲間と対話しながら学んでいく時間であることを全校で確認しました。

また、人によって感じ方や考え方は異なること、その違いを大切にしながら、相手の考えを受け止めたり、自分自身の考えを見つめ直したりすることに道徳の大きな意味があることについても話がありました。生徒たちは真剣に話を聞きながら、「考えを伝えること」「相手の思いを聴くこと」を大切に、多様な考えに触れながら共に学んでいく姿勢について改めて考える時間となりました。

